

五節句



人日 (じんじつ)	1月7日	「七草粥」を食べる日、と言えピンと来るかも。耳慣れない名称ですが、「人日」とはズバリ「人の日」の意味です。古代中国では正月1日に鶏、2日に狗、3日に羊、4日に猪、5日に牛、6日に馬、7日に人、8日に穀をそれぞれ占々と伝えられています(当日の晴雨で吉凶を占ったもの)。この正月7日(人の日)に、邪気を祓って1年の無事を祈るとして「七草の入った粥を食べる」風習があったのだそうです。 別名「七草の節句」、この方が親しみやすい？
上巳 (じょうし)	3月3日	3月の最初の「巳の日」という意味。 「褌を着て穢れを祓い、身代りの人形に汚れをうつして河川・海などへ流す」風習などがあり、江戸時代以降「雛祭り」として庶民の間に定着しました。 別名「桃の節句」は有名ですね。
端午 (たんご)	5月5日	こちらら5月最初の「午の日」という意味。 古くは「薬草摘みの日」であり薬草としての菖蒲(しょうぶ)が「尚武」の音に通じるとして、男子の立身出世を願う行事へ転化していったとか。 というワケで別名「菖蒲の節句」。
七夕 (しちせき)	7月7日	「たなばた」です。 有名な「おり姫(織女星)とひこ星(牽牛星)」の伝説は中国から伝えられたもの。日本にも「棚機つ女(たなばたつめ)」の伝説というのがあって、双方が結びついて「七夕」の節句となったそうです。別名は「笹の節句」。
重陽 (ちょうよう)	9月9日	「九」という数字は、易によれば「陽数の極」にあたり、これが重なる(非常にめでたい)という意味。中国の風習(この日に菊の花を飾り、邪気を祓って長寿を祈るというもの)が元になっており、宮中では重要な節句として位置付けられているものの、庶民には今ひとつ定着していないようです。別名「菊の節句」。



植物は、すごい!!

～ 環境の不思議 ～

「チューリップの花から工業原料」  
春に色とりどりの花を咲かせるチューリップですが、球根を生産・出荷する際には、良質な球根を商品として出荷するために、チューリップ畑において、花が咲くとすぐに花を摘み取らなくてはなりません。

この摘み取られた花(花弁)は大量に廃棄されているのが現状です。しかし、チューリップの花弁にはチューリップリンという物質が含まれており、これは耐熱性透明樹脂、液晶素材などの各種機能性高分子の原料、電気自動車に搭載されるリチウムイオン電池電極液、各種医薬品や化粧品の添加物など工業原料として多くの利用価値があることがわかってきました。

最近、同じくチューリップの花弁に含まれるチューリップポシドを酵素処理によりチューリップリンに変換し回収する技術の研究が進んでおり、今後利用がますます期待されます。



廃棄～有益な利用を...

春が辛いあなたへ

ちょっとハッピーなニュースをお届けします。

どうして花粉症になるのか、どうして花粉症は起こるのか、こんなことは、もうよく御存知のはず。知りたいのは、どうすれば、予防したり、防いだりすることができるか、ですよね。

桜鯛や 鯖には、ビタミンB6が含まれています。このビタミンB6は、カラダを異物から守ってくれる働きをしてくれるのです。つまり、カラダの免疫システムを正常にし、花粉症などのアレルギー症状を和らげてくれるというわけです。

そして、そして、このお魚と一緒にビタミンA、ビタミンE、ビタミンCなどが多く入っているお野菜を食べると、のどや鼻の粘膜が強くなって、カラダの外から異物が入ってくるのをガードしてくれるのです。辛くなる前に、辛くなってしまったら、桜鯛と鯖をお野菜と一緒に食べましょう。



旬の食材



あしたば	明日葉	たまねぎ	玉葱
うど	独活	なのはな	独活
かぶ	蕪	にら	蕪
カリフラワー		パセリ	パセリ
キャベツ		ふきのとう	蔦の薑
きょうな	京菜	ブロッコリー	京菜
クレンソウ		みつば	三つ葉
しいたけ	椎茸	ゆりね	百合根
しゅんぎく	春菊	わけぎ	分葱
せり	芹	わらび	蕨

桜鯛



たんぱく質

ビタミンB6

ナイアシン

カリウム

リン



笑って笑って  
ハイ! 笑って



参観日の話

息子 「その日は参観日でした  
俺達のクラスは、午後の音楽の授業が参観に当てられる予定でした。うっかりリコーダーを忘れた俺はあわてて、母に電話をして、学校までリコーダー届けてくれるように頼みました。しばらくして学校の事務室から連絡がありリコーダーを取りにいくと、そこに届けられていたのは小学校の時使っていた鍵盤ハーモニカだった。かあさん、俺のうっかりは遺伝だったんですね！」

工務店からfaxで現場案内図を送ってもらった地図のどこが現場かわかりにくかったので、おいかえし電話をしました  
「すみません地図届きましたけど現場どこですか」  
「赤いマジックで丸つけてあるところです」  
「はい、赤ですか、赤、あか...」  
「赤です」  
「.....」  
※工務店様へ 当社のFAXは白黒です

ラーメン屋さんにて、カウンターに座りラーメンと餃子を注文し、出来上がるのを待つ間、漫画を読んでいた餃子が運ばれタレを作り食べようとしてビックリ、私が小皿だと思っていた物は、灰皿だった。あたりを見回すと隣のおやじと目が

